

「情報処理学会会員の力を社会につなげる研究グループ」のご紹介

<http://www.ipsj.or.jp/sig/ssr/>

2018年10月05日

「情報処理学会会員の力を社会につなげる研究グループ」は、2011年12月27日に情報処理学会 Web サイトに公開された『情報処理学会教育ビジョン 2011』に記載されている、「教育に携わる諸部門とのさまざまな形での協働の推進に努めます」を実践する場として、2012年2月に立ち上げられました。「小中高の情報の授業に際して助言や補助を必要とする先生をお手伝いしたいと思ったことはありませんか？」など、問題解決のための協働の場を企画して実践するという、イベント企画型の研究グループです。

2018年度の活動

- **第7回 東大での『一般情報教育』を体験しよう 2018**

日時：2018年08月01日(水)～03日(金)

場所：東京大学駒場キャンパス情報教育棟



東大での『一般情報教育』を体験しようという企画は、高校の先生から「大学でのしっかりした情報の授業を聴きたい」という声を実現したものです。2014年からは、「情報科の教員対象を対象とした教員免許更新講習を検討して欲しい」を受け、教員免許更新講習と東大での『一般情報教育』を体験しようを一体化させて取組んでいます。2018年は、延べ人数37名の参加となりました。

- **第7回 情報科教員を目指す学生さんに向けてのガイダンス会 2018**

日時：2018年09月30日(日)

場所：電気通信大学 西10号館大会議室



高校と大学の先生のコミュニティを活用して、情報科の先生になりたい学生さんを応援しようという思いを形にしたものが、情報科教員を目指す学生さんに向けてのガイダンス会です。ガイダンス会は、招待講演、先輩教諭の体験談、質疑応答を中心に構成しています。2018年は、東京大学(1)、電気通信大学(5)、日本大学(1)、青山学院大学(4)、静岡大学(1)の学生12名を含む、27名が参加しました。

研究グループの活動も7年目となり、両イベントも定着化してきました。その一方で、新たな課題への着手や関東以外の地域とのコミュニケーションなど、協働の場の広がりにも目を向けていくべき時期にあります。「情報処理学会会員の力を社会につなげる研究グループ」では、今後も、課題をひとつずつ解決していくことで、「教育に携わる諸部門とのさまざまな形での協働の推進に努めます」を実践していきたいと考えています。